

# かしま 議会だより

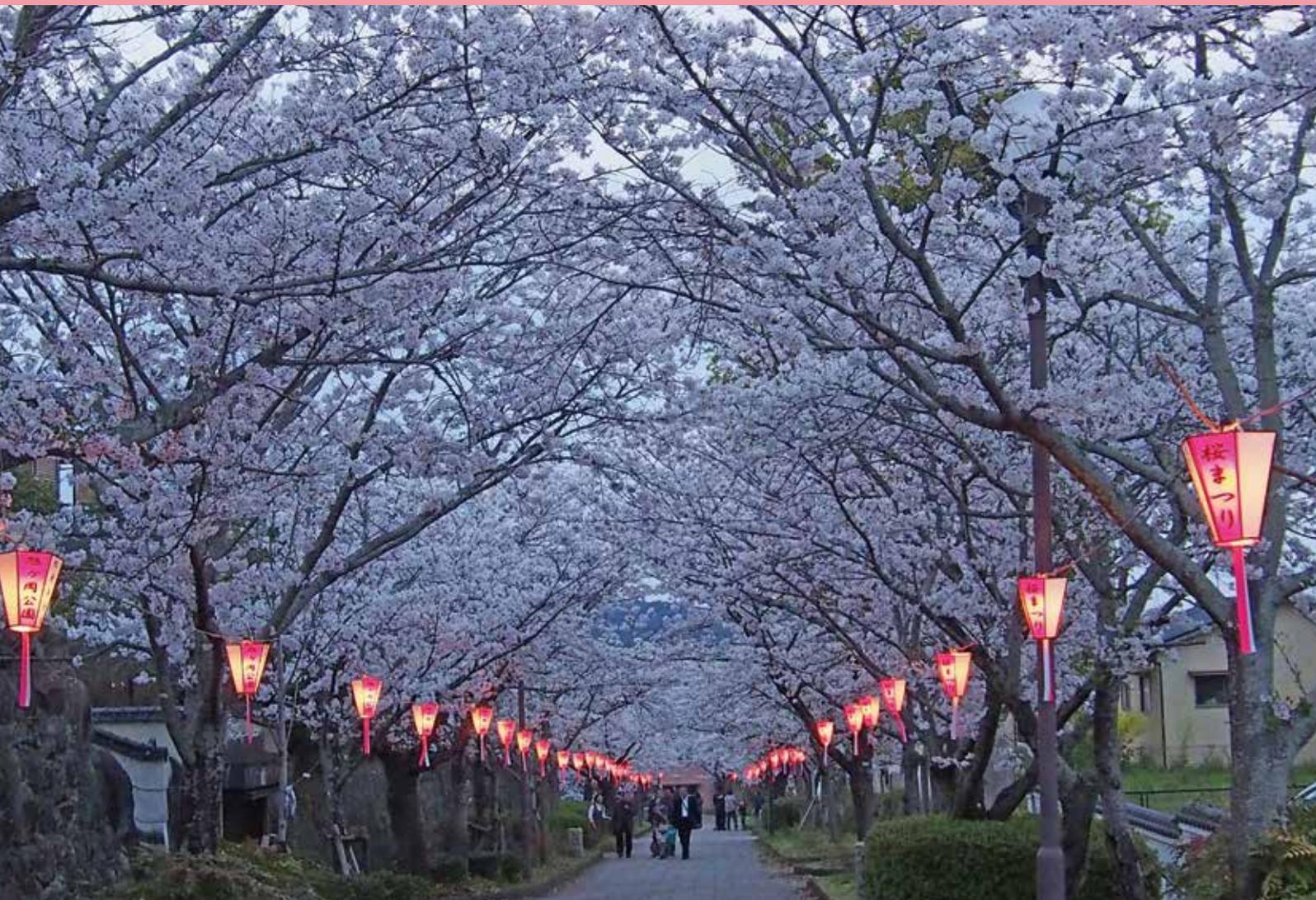
第84号

平成28年3月議会号

平成28年4月発行

発行/鹿島市議会 編集/議会だより編集委員会

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



花のトンネル

3月定例会日程と議案	2～3P
議案審議	4～5P
一般質問	6～10P
委員会報告・意見書	11～13P
議会報告会	14～15P
県外視察報告・広域議会等報告	16～17P
議会あれこれ・議長交際費	18P



鹿島市のイメージキャラクター  
かし丸くん





- 10日・新年度予算審査特別委員会
- 11日・新年度予算審査特別委員会
- 12日・休会
- 13日・休会
- 14日・新年度予算審査特別委員会
- 15日・新年度予算審査特別委員会
- 16日・休会（議案整理）
- 17日・一般質問（4名）
- 18日・一般質問（2名）
- 19日・休会
- 20日・休会
- 21日・休会
- 22日・一般質問（4名）
- 23日・休会（議案整理）
- 24日・委員長報告、議案審議  
・質疑、討論、採決  
・閉会

# 次の事を審議し決定しました

## 【3月定例会】

議案第1号	平成28年度鹿島市一般会計予算について
議案第2号	平成28年度鹿島市公共下水道事業特別会計予算について
議案第3号	平成28年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計予算について
議案第4号	平成28年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について
議案第5号	平成28年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について
議案第6号	平成28年度鹿島市給与管理特別会計予算について
議案第7号	平成28年度鹿島市水道事業会計予算について
議案第8号	鹿島市いじめ問題対策委員会設置条例の制定について
議案第9号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
議案第10号	鹿島市民交流プラザ条例の一部を改正する条例の制定について
議案第11号	鹿島市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について
議案第12号	市長及び副市長の諸給与条例の一部を改正する条例の制定について
議案第13号	教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第14号	鹿島市議会議員の議員報酬並びに費用弁償等支給条例の一部を改正する条例の制定について
議案第15号	鹿島市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
議案第16号	鹿島市税条例の一部を改正する条例の制定について
議案第17号	鹿島市福祉事務所設置条例及び鹿島市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例の制定について
議案第18号	鹿島市営住宅設置条例の一部を改正する条例の制定について
議案第19号	平成27年度鹿島市一般会計補正予算(第5号)について
議案第20号	平成27年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)について
議案第21号	平成27年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について
議案第22号	平成27年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について
議案第23号	平成27年度鹿島市給与管理特別会計補正予算(第1号)について
議案第24号	新世紀センター(仮称)新築工事(建築主体)の請負契約の変更について
議案第25号	新世紀センター(仮称)新築工事(電気設備)の請負契約の変更について
議案第26号	防災情報伝達システム整備工事(防災行政無線同報系デジタル化分)の請負契約の変更について
議案第27号	防災情報伝達システム整備工事(防災行政無線移動系デジタル化分)の請負契約の変更について
議案第28号	鹿島市と佐賀県との間の行政不服審査会の事務の委託に関する規約の制定に係る協議について
議案第29号	千葉県香取市との友好都市協定の締結について
議案第30号	平成27年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について
議案第31号～議案第40号	鹿島市農業委員会委員の任命について
諮問第1号～諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について
議員提案第1号	鹿島市議会委員会条例の一部を改正する条例について
議員提案第2号	鹿島市議会情報公開条例の一部を改正する条例について
請願第1号	TPP協定を国会で批准しないことを求める請願
意見書第1号	TPP(環太平洋連携)協定交渉の合意内容についての情報提供と国会での徹底的な検証・審議及び国内対策を求める意見書(案)

議案審議

議案審議

議案第1号

平成28年度鹿島市一般会計予算について

地方創生型予算について



松田 義太 議員

質問 平成28年度一般会計

計予算は、鹿島市第6次総合計画の初年度にあたる。重点施策として、定住促進・子育て支援等の政策的事業、そして、まちづくりのための投資的

生進型」の予算になっているとあるが、具体的にこれまでの予算編成とどう違うのか。

答弁 人口減少に歯止めをかける政策目標として、20億9千万円の事業費を計上している。定住促進・子育て支援等、種々な事業を展開し、加速化する人口減少に対応したまちづくり、第6次総合計画の実施に向け最大限努力して参りたい。

議案第14号

鹿島市議会議員の議員報酬並びに費用弁償等支給条例の一部を改正する条例の制定について

活動が保障される議員報酬を



松尾 征子 議員

質問一 議員報酬の位置づけは

答弁 議員と職員の違い

は、職員は職務専念の義務がある。議員は何をやっても良い。議員も職員も市の重要な事を決めるのでそれにふさわしい額の確保がされなくては

質問二 議員報酬は行革で長年低く抑えられてき

た。議員の活動は常勤と変わらぬ状況。活動が保障される報酬でなくてはならない。ただ今回の引き上げは市民の経済状況を見ると同意はできない。市長は議員報酬のあり方をどう思うのか。

答弁 報酬審議会に諮問して議論をされている時、答弁は出来ない。

議案第19号

平成27年度 鹿島市一般会計補正予算 (第5号)



稲富 雅和 議員

環境整備協力交付金について

質問 今回ボートレースショップ鹿島から環境整備協力交付金を計上されているが、今後1%として交付金として

市としてはこういった形で使ってい



勝屋 弘貞 議員

中庭ダム周辺整備事業について

質問 中庭ダム周辺整備事業でのトンボ池改修工事について。底石用の玉石(2トン・400万円程)を新たに購入する都合で工事が遅れ、繰越明許費に計上するという事だが、現地の石を使うからこそ、良さが出るので

答弁 当初は川にある自然石を使うつもりだったが、全体的に角張った石が多く、対象者が小さなお子さんで、水

くのか。

答弁 平成27年度交付金、平成28年度交付金は一旦公共施設建設基金へ、平成29年度以降については、1200万から1500万円の見込みがあるので、3分の1は、ふるさと人材育成支援基金へ、3分の1は、ふるさと創生基金へ、残りは財政調整基金に積み立てて地元対応や人材育成に使っていき

位の低い流水型の池でもあり、転倒等での怪我を心配し安全面を優先し変更した。底石や法面に直径10cm程度の玉石を、飛び石や周辺の景観的部分の石は現地の石を使う予定だ。



議案審議

議案第20号

平成27年度 鹿島市公共下水道事業特別会計  
補正予算(第4号)

小舟津・馬渡・納富分下水道工事について

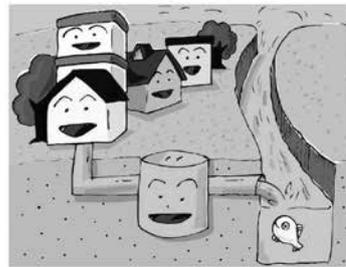


徳村 博紀 議員

質問 現在、小舟津地区・馬渡地区・納富分地区において公共下水道工事が行われているが、合

併浄化槽を設置しているご家庭においても下水道への接続をしなければならぬのか。また、接続しないご家庭についても下水道負担金を支払わなければならないのか。  
答弁 一般家庭において年間に負担頂く費用は下水道の方が安いという

こともあり接続をお願いしている。また、下水道負担金についてもお願いをしている。個別の相談については環境下水道課の方で受け付けている。



議案第24号

新世紀センター(仮称)新築工事(建設主体)  
の請負契約の変更について



伊東 茂 議員

質問 3月末完成予定の工期が4ヶ月延びる説明を受けたが、そもそも発注時期の遅れが原因で請負業者に負担を掛けている

たのではないか。東日本大震災復興工事・東京オリンピック関連工事の影響で資材不足発生の予測は出来ていなかったのか。  
答弁 耐震強化のため採用したBCP材が発注前に大量受注が入り納品が遅れる事態となった。その影響で外装・内装工事に影響が出るための工期

の変更である。工事金額は当初計画通り行う。発注時期の遅れが原因とは考えていない。



議案第21号

平成27年度 鹿島市国民健康保険特別会計  
補正予算(第3号)

医療費の急激な伸びの要因は



角田 一美 議員

質問 国保加入者が減少している中で保険給付費の補正後見込み額が、前

年度実績額から約1億5千万円と増加している要因は何か。  
答弁 今回の補正で療養給付金4千6百万円を増額をお願いしているが、12月までの実績で約3%の伸びを示している。肝炎の治療費が増加してお

り1錠6万円とか8万円する治療薬で副作用なく効果が高く、保険適用になり1人治療費に1ヶ月に200万円を超える医療費もあっており薬価が上がっているのも一つの要因になっている。



平成28年度一般会計予算(目的別)

予算額136億4百万円 (単位千円)

区分(目的別)	H28年度当初
1 議会費	152,193
2 総務費	1,374,093
3 民生費	4,913,835
4 衛生費	871,148
5 労働費	63,939
6 農林水産業費	1,617,904
7 商工費	292,094
8 土木費	1,409,597
9 消防費	661,976
10 教育費	1,387,281
11 災害復旧費	25
12 公債費	807,403
13 諸支出金	7,512
14 予備費	45,000
歳出合計	13,604,000

一般質問

一般質問

大型事業より市民の暮らしの市政を



松尾 征子議員

安心して子どもを産み育てられ、子ども達に笑顔のたえない鹿島市政を

質問一 少子化対策や、経済的に安心して子育てができる政策の実現が急がれる。給食費の無料化、保育料の無料化、子どもの医療費完全無料化実現を。

答弁 行政サービスには、負担が馴染みやすいものと、馴染みにくいものがある。馴染みやすいものには負担をさせていただく。馴染み難いもの、例えば道路や橋などは当然無料。

無料化といえば耳ざわりは良いが、不公平感もある。立場上の制約もあるコスト的納得がいく水準でなくてはいけない。

「就学援助制度」について

質問二 全ての子ども達がどんな環境にあらうとも、誰もが同じ教育を受け幸せになる権利がある。そのため就学援助制度がある。就学援助制度の周知徹底が必要。これまでも指摘を続けている修学旅行費は、精算払いのため家庭は大変。概算払いに改善を。

答弁 概算払いは難しい。質問三 払うお金がなく借金して払う家庭もある。「旅行止めて」ということもあると言う。本当に

制度を活かし子ども達の事を思うのなら、概算払いにするべき。このことを委員会で議論したことがあるのか。

質問四 子ども達の気持ちを思えば概算払いを現実させること。他の事業では出来ているはず。早急に実現して子ども達や家庭を安心させること。本当に子ども達のことを思うのなら実現の約束を

答弁 子ども達のこともしっかり考えている。概算払いは難しい。入学の段階から積み立て制度もある。



鹿島市のキャリア教育は（職業体験等社会人教育）



福井 正議員

質問一 2015年の離職率は、1年目高卒194%大卒122%。理由は、思っていた仕事と違う、給料が低い、会社環境にならない、人間関係がつかない等である。文科省は、平成16年に中教審の「キャリア教育の推進に関する報告書」で、求職と求人

の不適合若者の勤労観の未熟さや精神的自立の遅れなどで、進路を選ばない子ども達が増加したことでキャリア教育が始まった。キャリア教育は、職業人の話を聞く、職場体験等で社会を知る。目指す職業を見つける、高校や大学を選択する教育であり、社会人として基礎を作る教育である。鹿島市のキャリア教育の状

況は。以前の子ども達は、家事手伝いや農作業、新聞配達等で、社会を経験していた、現在の状況は、

質問二 鹿島市でも、職場体験や職業人の話を聞く等取り組んでいる。新聞配達等は中学校までは原則禁止であるが、やむを得ない場合、学校長や労働基準局の許可で行える。家の手伝いは小5で84%、中1で81%、中2で64.9%が手伝っている。

質問三 鹿島市独自の奨学金制度を 貧困で高校・大学に進めない子ども達がいる。現在の奨学金は貸与であり、上級学校に進学しても就



平成27年度 西部中学校卒業式



肥前鹿島駅前

職した時点で借金が残る。給付型奨学金に取り組めないか。給付条件として卒業後鹿島市に3年以上居住し、鹿島市の企業に通勤することで人口流出防止策になると思うがどうか。

質問三 長崎新幹線がリレー方式で整備された時の鹿島市の対応はどうか。フリーゲージからリレー方式に変更された場合、新幹線開業時点となるのか。その時期で長崎本線運行が変わる鹿島市の取り組みは。

答弁 現在知事に要請し、事務方で沿線自治体と運行形態について協議中。

## ピロリ菌検査助成の導入について



杉原 元博 議員

**質問一** 早期のピロリ菌除菌が胃がん撲滅に繋がります。重症化予防で健康寿命を伸ばし、社会保障給付費の抑制にもなると思うが。

**答弁** がん検診と合わせ、健康教育を実施し、ピロリ菌除菌が胃がん発生リスクを低くする可能性を市民の方に伝えていきたい。

**質問二** 佐賀県は県内の中学三年生全員を対象にピロリ菌感染検査を実施すると発表。このことを受けて市及び教育現場の対応は。

**答弁** 今後各市町に於いて中学校への概要説明、参加意向のとりまとめ、県への連絡を行い、来年度から実施の旨説明が

あった。

**質問三** 胃がんは予防できるがんなのに佐賀県では多くの人が亡くなっている。市としてもピロリ菌検査助成の導入を検討すべき。

**答弁** 先日は「ピロリ菌検査の実施及びその助成」について4045人の署名をいただいた。重く受け止めている。議員が紹介された4市町の実績や効果・実施方法などを参考に、具体的な検討を進めていきたい。

### 『がん対策加速化プラン』について

**質問一** がん対策基本法が成立して今年で10年。国を挙げての本格的な取り組みがスタートし、がん対策は着実に前進。受診率の向上などの効果について。

**答弁** 各種がん検診受診率は少しづつ上昇が見られ、今後も受診しやすい

体制づくりと勧奨通知の方法など再度検討を重ねていく。

**質問二** 厚生労働省が昨年12月に発表した『がん対策加速化プラン』について

**答弁** がん対策推進基本計画に示されている分野のうち加速することが必要な分野、死亡率減少に繋がる分野に絞り、短期集中的に実行すべき具体策が示されたもの。

**質問三** がん教育の学校現場の対応は。

**答弁** 義務教育段階からしっかりと指導していかなくてはならない。正しい知識を身につけ命の大切さを学ぶ事が大変重要である。



## 鹿島市が直面している課題について



松田 義太 議員

### 鹿島市農業の現状と課題

**質問一** TPP問題について、新年度から議論と対策を本格化させなくてはならないと思うが、平成28年度の組織体制で新たな体制を考えているか。

**答弁** 専門で担当する課長職を4月から置くことを検討している。スピード感を持った対応や外部との連携を充実させたい。

**質問二** 平成30年に見直されるコメ政策（生産調整・減反政策）への対策として、国は食用米から作物ごとに作付ビジョン（水田フル活用ビジョン）を策定し、飼料米、麦、大豆、WCS（飼料稲）への転換を誘導する

方針を掲げているが、今後、市の取り組みについてはどうか。

**答弁** 平成30年から行政ルートの生産数量目標の配分ではなく、生産者の主体的な判断で生産・販売する方向で見直しされる。市として、食味コンテスト特Aの「さがびより」など販売戦略と一体となった売れる米づくり、飼料用米などの新規需要米の取り組み、大豆などを組み合わせた産地としての戦略に取り組みむことが大事になってくる。今後、県やJA（農協）と



連携し、産地としては農業再生協議会で検討を進めて行きたいと考えている。

### 指定管理者（制度）による運営の現状と課題について

**質問** 地区公民館の運営は、指定管理者制度により各地区振興会、運営協議会に委託されているが、公民館職員の雇用期間について、平成25年4月に改訂された労働契約法の影響が危惧されている。担当課としてどのように考えられているか。

**答弁** 鹿島市公民館連絡協議会で検討してきたが、「各地区公民館の対応がバラバラだといけないので、基本とする雇用期間は5カ年。」という事までまとまっている。ただ、「5年とした場合、若い人の雇用が難しい。」など意見があり、今後も協議していく事になる。

一般質問

議会報告会での質問・ご意見を受けて



伊東 茂議員

市民会館建設に伴う  
財政負担について

**質問一** 市民会館建設計画は建て替えを前提に進めており、解体に約3億、建設費に約30億と想定されている。しかし、財源不足が懸念され、将来人口減少を伴う後年度負担が心配である。本市財政に見合う計画が必要ではないか。

**答弁** 現在、県の指導を仰ぎながら国の補助金を受けられる範囲を検討中である。補助金の増減により、当然計画は変更する可能性がある。

**質問二** 市内循環バスの利用状況と改善策について。  
市内循環バスは乗客が

まばらな状態である。今後も従来通りの運行を行うのか。改善策の検討はなされているのか。

**答弁** 平成22年度から運行を始め、コース変更や時刻表の改善、駐車場の変更、回数券の発行等の改善を行ってきて、利用客は毎年少しずつ増えてきている。交通弱者には今後も必要と考える。新年度は佐賀段階チャレンジを活用し、PRビデオを作成し、老人会などで広報活動に努める。

放課後児童クラブの  
現状と課題について

**質問一** 新学期に向けて、小学生保護者から放課後児童クラブに入会申し込み後、待機の連絡を受けようすればいいかと相談を受けた。利用料はかかっても共稼ぎ世帯には必要不可欠な子育て支援施策であり、佐賀県が

掲げる「子育てし大県さが」のスローガンに逆行してしまう。新学期までに待機児童を解消する対策を急ぐべきである。

**答弁** 平成28年1月時点で市内小学校、放課後児童クラブは定員に対し希望者が多く余裕がない状況である。対象児童が6年生まで拡大されたことも原因と考えられる。支援員の確保、部屋の確保を急いでいる。まず、浜小学校は校舎内、空き教室を利用し整備を行う。鹿島小学校は三道会の部屋を借りて待機児童解消を考えている。

**質問二** 浜小学校の放課後児童クラブ新設教室前の廊下のカーペットの破損がひどすぎる。新学期までに修復を要望する。

**答弁** 本年度、施設整備事業で廊下のカーペットの張替えを行う。

市内産物の活用と食育の推進について



角田 一美議員

**質問一** 農家・生産者団体と連携し学校給食地元産の食材使用率100%目標の地産地消を推進する必要があると思うが地元産の調達割合の現状はどの程度か。

**答弁** 年間を通したデータはないが、6月と11月の第3週の1週間の市内産使用率は、6月で134%、11月で148%である。

**質問二** 子ども達の食嗜好の単品化、みそ汁はなれが進んでいる。地元産の食材を使った献立で食への関心を誘いながら食歴形成や農業への理解を持たせる等、食育が必要ではないのか。

**答弁** 鹿島市学校給食センターの栄養士が考案した、県内・市内産農産物

を活用した献立が全国学校給食甲子園大会で入賞し、この献立で給食を出したところ食べ残しもなく、大変おいしいと喜んでもらった。今後も市内農産物を活用した献立等で食育にも真剣に取り組んでまいりたい。

障がい者の就労支援  
と全国障害者スポーツ大会誘致

**質問一** 障害者優先調達推進法で課せられた障がい者施設からの調達額が僅かで、目標の前年度実績額を下回っている。法の趣旨が庁内各課に周知徹底、理解されていないのではないか。今後、どう取り組むのか。

**答弁** ご指摘のとおり平成26年度の実績が僅か20万4千円と少ない。福祉事務所の所管で可能な業務を洗い出した結果、福祉施設で受託可能な児童

公園の清掃や除草作業があり、平成28年度から委託発注したい。庁内各課にも取り組みを更に促していきたい。



**質問二** 平成35年には佐賀県で国民体育大会の開催が決まり全国障害者スポーツ大会も開催される。鹿島市への誘致がでないか。課題は何か。

**答弁** 陸上競技場でのアーチェリー競技の開催打診があっている。来年3月に競技種目が決定し、会場は来年9月に決定される。課題はトイレや駐車場からのスロープ等の整備が必要。



教育委員会の運営や対応について



中村 一彦議員

**質問** 昨今、子どもへの教育が非常に難しい社会になっている。いじめ、不登校、学力低下、学級崩壊など教育問題は様々で複雑である。そういった状況の中で子どもを中心に保護者や地域、行政が一体となった教育環境づくりが今後益々求められる。鹿島市教育委員会として、その運営や対応を適正に、そして丁寧に行っていると考えているか。また、保護者と教育委員会の信頼関係をどう構築されているのかお尋ねする。

**答弁** 教育委員会の運営については、まだまだ不十分なところがあると思う。特に、職員の役割分担のやり方の工夫を今後

一般質問

フッ素洗口が行われる予定である。鹿島市でも中学生の健康増進のために、希望者にはフッ素洗口を行って欲しいがどう考えているのか。

**答弁** 他市の状況については把握している。十年前に比べると生徒数は減少しているのですが、なんとかやっているとではないかと思っている。今後、中学校でのフッ素洗口の課題点などを解決し、前向きに取り組んでいきたい。

しなければならぬ。またここ数ヶ月で、鹿島市総合教育戦略会議を市長部局と十回行い、有意義で密度の濃い話し合いをしたので、これからの鹿島市教育に活かしていく。保護者との信頼関係については、教育委員会ですら先して地域や保護者に対してPRを行い、学校を理解してもらう事が必要である。教育委員会で行っている取り組みをより丁寧にHP等で紹介して、皆様にご理解頂けるような情報発信に力を入れて取り組んでいく。

中学校でのフッ素洗口について

**質問** 中学校でフッ素洗口が行われている近隣の市町村は、武雄市、小城市、有田町、大町町、白石町、江北町などがある。また、嬉野市では今年4月から全ての中学校で

フッ素洗口が行われる予定である。鹿島市でも中学生の健康増進のために、希望者にはフッ素洗口を行って欲しいがどう考えているのか。



ラムサール条約湿地登録をまちづくり生かすことについて



稲富 雅和議員

**質問一** これまでの取り組みとこれからの課題はなにか。

**答弁** 沢山取り組んできたが少し紹介します。北鹿島小学校での登録イベント、ラムサール関係の全国市町村会議に出席、これまでも地元には年2回海岸清掃をして頂いていました。新たにボランティア団体での海岸清掃、佐賀大学による保全調査、子ども達による水生生物調査、観察会。クワツラヘラサギ・ネットワーク全国大会in鹿島や、森川里海フォーラムin鹿島などを開催。また、佐賀大学・県合同での研究発表大会や唐津市から観光の一部に入れたと言われ、見学に来ら

れました。今後うまく活用していくかが課題となり、これから人も必要です。いろんな方のご支援も必要です。これからは一生涯懸命頑張って参ります。

開発商品「キンパンカ」について

**質問二** 今回打ち出されている「キンパンカ」についてその内容を紹介していただきたい。

**答弁** 「キンパンカ」とは佐賀弁で綺麗好きという意味があり、アメニティブランドとして、ハンドクリームソープ、ミスト、シートの3商品を開発。開発の経緯は、九州大学との包括連携で市にある天然素材の機能性の分析、それぞれが持つ特性を見出してもらったが、研究は研究に終わるため、アウトプットにつながる取り組みをお願いしたところ、化粧品

開発に携わる第一人者を紹介いただき、研究と合わせて今回の取り組みを進めたものである。化粧品材料は多岐にわたるため、市のイメージを考え、摘果ミカンのシトラス系の香りエキス、お茶が持つ抗酸化作用を活かしたものを、祐徳神社の手水舎の水を利用して頂き、鹿島を発信する為に「キンパンカ」を開発商品化したものである。



一般質問

学校教育について



勝屋 弘貞議員

**質問一** 教職員の勤務評  
定は誰がどのような形で  
行っているか。自己評価  
はあるのか。また、県内  
において過去6年間に、  
懲戒処分を受けた教職員  
が24人いた。同じような  
状況だった長野県では、  
学校全体で質の高い教育  
を提供するためのシステ  
ムとして、児童生徒・保  
護者側からの学校・教  
職員の評価をやっている。  
客観性、透明性を高める  
ために取り組めないか。

**答弁** 教職員の勤務評定  
は法に従い県教育委員会  
の計画に則って行ってい  
る。学校長は市の教育委  
員会が、副校長以下の教  
職員については学校長が  
県の示す方法で行う。学  
校長の主観に偏らない

よう教頭等の意見をしっ  
かり聞きながら学校長が  
責任を持って作成してい  
る。自己評価については  
勤務評定とは別に「評価  
育成システム」というも  
のがあり、目標を立て成  
果や課題を見るというも  
のがある。その折には学  
校長と面談しながら、ど  
ういった状況だったのか、  
さらに高めなければなら  
ないことなどはないかな  
どを話し合いながら作成  
する。

**質問二** 学校教育の中で  
授業内容をしっかりと理解  
しているのであれば、塾  
には通わなくてよい。来  
年度、新規の取り組みも  
計画されているが、理解  
するまで教えてくれとい  
う要望が保護者からあつ  
た場合は納得行くまで教  
えて頂けるといふ事か。

**答弁** 学校の指導が十分  
でないから塾に行つて  
いるというのであれば、  
はつきりところらに伝え



て頂けたらそれなりに指  
導していく。しっかりと  
補充学習には取り組ん  
でいかなければならない。  
現在、放課後や夏休み期  
間中において補習を行っ  
ているが、来年度から行  
う「学力向上サポーター  
活用事業」も同じ目的の  
ためにするもので、力を  
入れてやっていく。

鹿島市産業振興と人口



松本 末治議員

鹿島地元企業への就  
業人口と鹿島市住民  
の採用について

**質問一** 人口3万人を切  
り、どこまで人口減少が  
続くか心配。人口減少に  
歯止めをかけるために、  
地元企業へ出来るだけ雇  
用してもらえないような取  
り組みができないか。

**答弁** 人口減少、労働人  
口減少に歯止めをかけよ  
うと、企業、高校、ハロー  
ワーク、市と連携を取り  
ながら様々な取り組みを  
行っている。又、市内企  
業では、工業高校生徒を  
対象に、次世代の産業を  
担う若手技能者の育成と  
いうことで、企業の技能  
者が学校に向いて実技  
の講師をされたり、イン

ターンシップで夏休み  
を利用し、実際工場で技  
能育成に取り組みされて  
いる。

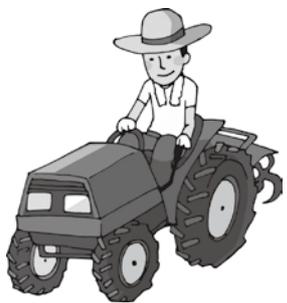
**質問二** 鹿島市として、  
地元企業への優遇施策・  
支援はどの様な対応策を  
とられているか。

**答弁** 「かしまビジネス  
サポーターセンター」を商  
工会議所に委託し、市内  
企業の経営上の課題解決  
や販路開拓、事業者に密  
着した相談業務取組等に  
より、地域の産業振興を  
図り、就業場所の維持確  
保で都会への人口流出抑  
制とともに、地域経済の  
活性化を図るものとし  
て、設置運営を行ってい  
る。

鹿島市における一次  
産業振興の今後につ  
いて

の基幹産業と位置付けら  
れている。価格の低迷、  
後継者不足、荒廃農地増  
加、有明海環境問題など  
厳しい現実問題がある  
が、一次産業の振興なく  
して鹿島市の活性化はな  
い。今後の対策について。

**答弁** 「売れる物」をつ  
くる時代になり産地間競  
争も激しく、果樹農業に  
おいてはJAで「果樹産  
地構造改革計画」を立て  
られ、担い手育成支援(新  
規就農者支援)や、地域  
活性化の為に、みかん産  
地である鹿島で、高品質  
みかんを生産できる「根  
域制限高畝栽培」マルチ  
を推進支援し、高級ブラ  
ンド販売へ対応。



## 新年度予算審査特別委員会審査報告

### 議案第1号～7号

平成28年3月3日の本会議において本委員会に付託されました

議案第1号「平成28年度鹿島市一般会計予算について」

議案第2号「平成28年度鹿島市公共下水道事業特別会計予算について」

議案第3号「平成28年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計予算について」

議案第4号「平成28年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について」

議案第5号「平成28年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について」

議案第6号「平成28年度鹿島市給与管理特別会計予算について」

議案第7号「平成28年度鹿島市水道事業会計予算について」は

平成28年3月8日に現地調査を、9日・10日・11日・14日・15日に審査を、計6日間特別委員会を開き、審査の結果議案第1号から議案第7号までいずれも、賛成多数で原案の通り可決することに決しました。

以上、会議規則第98条の規定により報告します。

新年度予算審査特別委員会 委員長 徳村博紀  
副委員長 樋口作二

### 平成28年度一般会計予算審査の委員長報告に反対する討論

#### 市民の声を生かした公平公正な市政を

松尾 征子

破綻したアベノミクスで、市民のくらしが落ちこんでいる。今こそ「福祉優先」の地方自治体の原点に立つとき。①子供を安心して生み育てられるものでない②農家、全てが農業経営を保障されるものでない③市営住宅予定地が警察跡地、全体の街作りを考えてやる、県に気を使ったものと思えない④産学公連携による商品開発は結果が出ないときははじめをつけること⑤不公正の同和行政の終止改善がまったく進められていない。⑥借金作りの大型事業は止めること。市の行財政運営は市民の声を聞き公平公正にやること。

### 平成28年度一般会計予算審査の委員長報告に賛成する討論

福井 正

議案第1号平成28年度一般会計予算案について、賛成討論を行う。平成28年度一般会計当初予算案は、136億4百万円で27年度当初予算より、12億3千万円減額されているが、定住促進、子育て支援等地方創生推進型の予算となっている。

産業振興として、農地整備や選果場整備、6次産業化推進、新製品開発などに取り組み、定住促進策として、市営住宅整備に取り組み、定住促進に寄与する予算である。混雑市道の解消のため設計予算も生まれ、学童保育の拡張等子育て支援にも取り組む予算であり、今後の鹿島市の人口減少に取り組む予算である。よって平成28年度一般会計予算に賛成する。

討論採決の結果、賛成多数で可決しました。

## 文教厚生産業委員会 審査報告

### 議案第8号 「鹿島市いじめ問題対策委員会設置条例の制定」について

平成28年3月2日の本会議において付託されました議案第8号「鹿島市いじめ問題対策委員会設置条例の制定について」は、3月7日に委員会を開き、審査の結果、原案どおり可決すべきものと決しました。

#### 【条例の概要】

(第1条) 地域におけるいじめ防止等を、より実効的に行うための組織として、鹿島市教育委員会に「附属機関」として、「鹿島市いじめ問題対策委員会」を設置する。

(第2条) 教育委員会の諮問に応じ、次の事務をつかさどる(所掌事務)。

- (1) いじめ防止等のための方策を実効的に行うための専門的な知見に基づく審議
- (2) 小中学校における「いじめ防止等対策推進法第24条に規定する事案」についての調査
- (3) 小中学校における「いじめ防止対策推進法第28条第1項に規定する重大事態」についての調査

※「重大事態」とは、①いじめにより、児童等の生命、心身、または、財産に重大な被害が生じる疑いがあると認めるとき。  
②いじめにより、児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。

(第3条) 委員会は、委員6人以内で組織し、公平性及び中立性を確保するため、委員は、学識経験のある者及び関係行政機関の職員のうちから教育委員会が委嘱する。

(附則) この条例は平成28年4月1日より施行する。

### 請願第1号 「TPP協定を国会で批准しないことを求める請願」について

平成28年3月2日の本会議において付託されました請願第1号「TPP協定を国会で批准しないことを求める請願」については、3月7日に委員会を開き、審査の結果、下記意見等があり、採決の結果、賛同者なしで不採択すべきものと決しました。

#### (意見)

- ・国会で批准されないときの国内への影響が見通せない。
- ・合意内容、協定書の全体、交渉経過など全面的な公開がなされていないので判断が難しい。まずは、情報公開を求めることと、国会決議違反かどうかを国会において十分、検証・審議を尽くすことを求めるべきである。

(意見書を別途提出、提案)

以上、会議規則第98条の規定により報告します。

文教厚生産業委員会  
委員長 角田一美

意見書第1号

TPP(環太平洋連携) 協定交渉の合意内容についての情報提供と  
国会での徹底的な検証・審議及び国内対策を求める意見書

昨年10月5日、TPP協定交渉の参加12か国は、アメリカで開催された閣僚会合で大筋合意に達し、2月4日協定書への署名がおこなわれた。

今回の合意によって、農林水産物は全体の8割が即時もしくは段階的関税撤廃の対象となり、聖域とされた農産物の重要5品目についても3割が関税撤廃となり、アメリカ及びオーストラリアからの輸入米について特別枠を設け、牛肉や豚肉の輸入時の関税を大幅に引き下げるなど、我が国の農林水産業には大きな影響と、さらに不平等なISD条項、医療・保険分野への営利主義強化、食の安全侵害など懸念される。

政府は、農産物の重要5品目の保護を求める衆参両院の農林水産委員会の決議を、遵守したかどうか早急に検証するとともに、農業者が将来にわたって意欲を持ち農業に取り組めるよう、万全な対策を講じることが不可欠である。

よって、政府及び国会に対し、TPP協定交渉の合意内容の国民理解と農業分野の持続的な発展に向けて、下記の事項について強く求める。

記

- 1 TPP大筋合意と協定書の全体、交渉経過などの情報を全面的に公開し、協定が国民生活や農林水産業をはじめとした地方経済に与える影響を分析し、速やかに公表すること。
- 2 協定批准の可否の決定に当たっては、重要5品目等の保護を求める衆参両院の農林水産委員会における決議を遵守したものになっているかどうか、国会において検証・審議を十分尽くすこと。
- 3 農林水産業は国の礎であることから、TPP協定の行方にかかわらず将来にわたって農林漁業者が夢と希望を持って経営に取り組めるよう、経営安定化や競争力強化等に向けて万全の対策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年3月24日

佐賀県鹿島市議会

内閣総理大臣	安倍	晋三	様
衆議院議長	大島	理森	様
参議院議長	山崎	正昭	様
外務大臣	岸田	文雄	様
農林水産大臣	森山	裕	様
経済産業大臣	林	幹雄	様
内閣官房長官	菅	義偉	様
内閣府特命担当大臣 (経済財政政策)	石原	伸晃	様

平成28年2月10日 19時開会  
会場 エイブルホール

# 議会報告会



## 【第一部】 基調講演

「地方創生について」

「持続可能な地域づくり」

佐賀県 さが創生推進課長

實松 尊徳氏

地方創生という言葉のみが先行し、内容についてはなかなか理解しにくい現状を踏まえわかり易く講演をして頂きました

た。地方創生の課題は、一時的な地域活性化とは違い、30～50年後にこの地域がどうなるのかということ。成功のカギは人材である」とのこと。若い人や女性も一緒にまちづくりを考えていく必要性を感じた講演でした。

## 【第二部】 ①委員会報告

常任委員会報告（総務建設環境委員会・文教厚生産業委員会）

特別委員会紹介（地方創生対策特別委員会・まちづくり推進構想対策特別委員会）常任委員会所掌の事務、行政視察内容、委員会活動（各団体との意見交換会）を紹介、説明を行いました。

②参加者からの質問と議会からの回答  
〔質問〕 高齢化が進む中、地域全体で支えるならば子どもから老人まで集える場所や推進機構をどのように考えていくのか？今後の鹿島の全体像、駅前開発、市民会館の建て直し、防災センターの半年遅れなど色々話は聞くが市民には見えない。そのような報告を議会だよりに掲載して欲しい。

〔回答〕 民生費は鹿島市予算150億の中で51億と膨らんでいる。地域の皆さんの力を借り、足りないところは行政で支援していく必要性があると考え。防災センターの遅れは2月初旬に

説明を受けた。完成は8月末予定。市民会館建設については議会特別委員会と市民会館建設検討委員会と意見交換を行い、新築する方向で決まっている。内容は3月議会に取り上げる。

〔質問〕 地域を見守る体制をどうするか？市民会館は新築か？これだけ人口が減少していく中で本当に必要か考えて欲しい。ピオの利用者増加で駐車場が狭い。サークル活動の音楽で会議に集中できない。防音設備の会議室、研修室を作ったほうが市民のためになると思う。

〔回答〕 時間に限りがあるので、議会でも十分検討させていただく。3月議会一般質問参照。

〔質問〕 財政再建と自然災害への備えが今後の課題と思うが、人口減少の中、財政の見直しは？巡回バスは利用者が少なく民間の感覚では理解できない。料金減額等の改革が必要。ピオかたらいについては地下が使われていない。利用を考慮すべきではないか。

〔回答〕 ピオに関しては公的施設配置にさまざまな議論をおこなってきた。これで終わりとは思っていない。今後も本会議で取り上げる。財政問題は毎回本会議で取り上げ納得いく時点で次の施策に進むようにしたい。循環バスの件も3月議会に取り上げる。

# 市民と議会がともに歩む

# 第6回

〔質問〕 塩田のし尿処理施設では汚泥を発酵・乾燥させ無料で地区民に配布し、それが園芸に効果があると聞いた。鹿島でも出来ないか？

〔回答〕 乾燥汚泥の肥料化については3月議会で取り上げる。(3月議会執行部説明) 総務委員会が視察した石川県珠洲市のように藤津鹿島衛生施設組合でバイオマスメタン発酵処理施設を考えた場合、設備費に約40億円近くかかると考えられる。塩田地区は農業集落排水を利用しての乾燥汚泥であり、鹿島市も生ごみ処理の肥料を本年度、大字納富分地域で無料配布を行う。今後も検討していく。

〔質問〕 農業者の高齢化に伴い、耕作放棄地が増えている。農業の衰退を防ぐためにも基盤整備が必要と考える。若い後継者が取り組みやすいように、圃場整備・ブランド化などを考えて欲しい。また、イノシシ被害も後を絶たない現状に市の対策を聞きたい。

〔回答〕 中山間地整備事業が進み改善されていると思う。農業支援の取り組みは行政と話し合い、今後も推進していく。イノシシ対策は根本的な駆除が必要。年間600頭以上の捕獲でも増えている現状に今後も対策補助が必要と考える。

〔質問〕 七浦は過疎化が進み、コンビニが一軒あるだけで、千菜市が集落に宅配

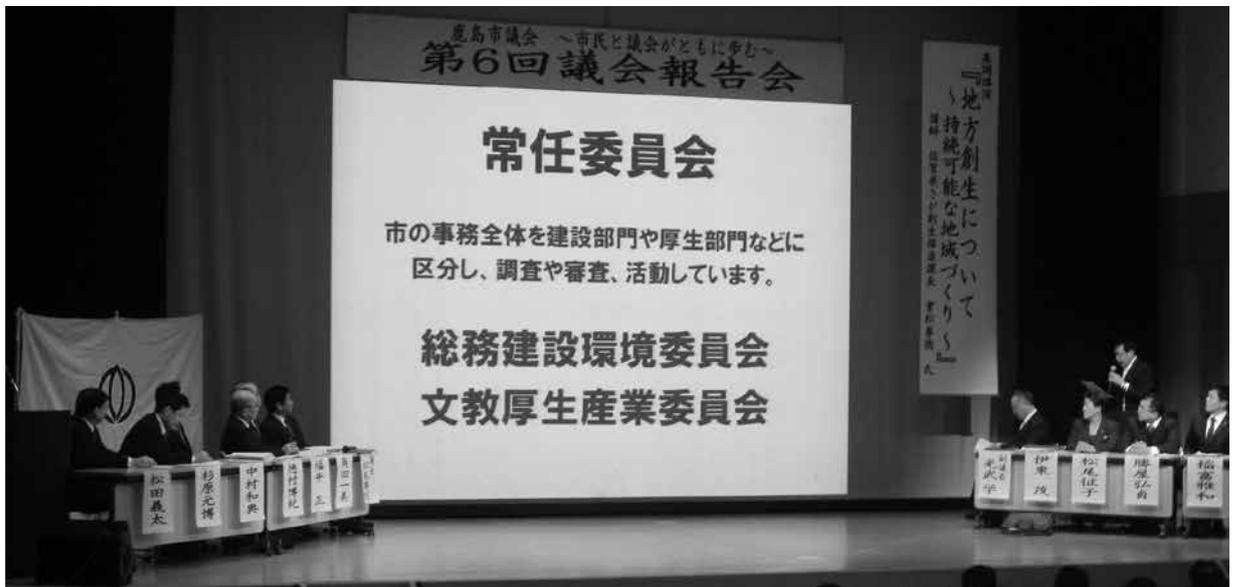
業務を奉仕してもらっている。買い物難民に対する考えは？

〔回答〕 七浦に限らず、今後は鹿島周辺でも起きる問題と考えています。コンパクトシティー化の推進で過疎化する地区には対策が必要です。これから議論していき、行商などへの支援について検討していきます。

短い時間での議会報告会、貴重なご意見・質問を多く頂きました。時間の制限もあり、満足いく回答ができなかったり、執行部の考えを聞かなければならない場面もありました。いくつかの質問については3月議会の議案審議・一般質問で取り上げさせて頂きました。次回の議会報告会に向けて検討課題もあります。今後とも改善を重ね、皆さんの負託に答えてまいります。ご参加ありがとうございました。

## 議会報告会プロジェクトチーム

- チーム長 伊東 茂
- 杉原 元博
- 松田 義太
- 松本 末治
- 松尾 征子
- 松尾 勝利



平成27年度 議会運営委員会行政視察報告  
(日程/平成28年1月27日～29日)

【視察地】

京都府 亀岡市議会  
奈良県 奈良市議会  
大阪府 堺市議会



鹿島市議会は、本会議のケーブルテレビ中継や議場での子ども議会、議場でのコンサートなどの議場解放、議会基本条例の制定、議会報告会開催などの議会改革に取り組んできました。さらなる議会改革を目指して、議会ランキング上位の市議会を訪問し研鑽に努めています。今回の行政視察は、議場でのタブレット等ICT機器の活用や映像使用のライブ中継などを視察してまいりました。

1月27日 亀岡市議会

亀岡市は京都市に隣接し、人口91,000人、面積224km<sup>2</sup>の市です。市議会議員は定数24名であります。亀岡市議会の取り組みは、平成22年から事務事業評価実施、パソコンを本会議・委員会への持ち込み許可、ネット接続でき情報取得可能。ただし発信は不可。政策研究会制度（議員3名以上）で、テーマを決め研究会を結成し、議会運営委員会の承認を受けて活動する。成果は議会運営委員会に報告し、議会運営委員会で取り扱いを決定、政策提案・提言する。平成26年から市民との情報共有・市政の課題に対する意見交換を通じてよりよい議会活動をおこなう。管理権限は議長、議会運営委員長・広報広聴会議正副委員長、その他管理権限者が認めた方が有しています。

1月28日 奈良市議会

奈良市は奈良県の県庁所在地で、人口36万人の都市です。議員数は39名。奈良市議会では、ICTを活用した議会、本会議・委員会のライブ中継に取り組まれ、開かれた議会となっています。



1月29日 堺市議会

堺市は人口84万人、面積149km<sup>2</sup>、議員数48名です。堺市はICTを使った議会。映像を大型モニターに映し出して、議員の質問や執行部の説明ができるシステムに取り組まれている。

いずれの市議会も通信機器の持ち込みは禁止されていない。ただ通話はできず、資料の検索のみとなっていました。



議会運営委員会

委員長：福井 正  
委員：伊東 茂・角田一美  
          稲富雅和・勝屋弘貞  
議長：松尾勝利

## 【佐賀県後期高齢者医療広域連合議会 2月定例会報告】

去る2月15日に定例議会が開催され、平成28年度一般会計及び後期高齢者医療特別会計の歳入歳出予算(案)、後期高齢者医療に関する条例、情報公開条例及び個人情報保護条例の一部を改正する条例等が全会一致で可決決定された。

平成28年度の特別会計歳入歳出予算総額は1,216億5,767万3千円、前年度比4億1,513万7千円(0.3%)の増。

平均被保険者数は12万1千人(1.29%の増)、1人当たり医療給付費99万5千円を見込み、医療給付費総額は1,211億2,036万5千円計上。

平成28年度・29年度の保険料率は、8年振りの診療報酬の減額改定や27年度の剰余金見込み額、県財政安定基金の活用等により現行と同じく据え置き、低所得者の負担軽減策も拡大された。(2割軽減48万円、5割軽減26万5千円)

佐賀県後期高齢者医療広域連合議会議員  
角田 一 美

## 【佐賀県西部広域環境組合議会 第1回定例会報告】

平成25年に着工した一般廃棄物処理施設(ごみ処理施設)の建設工事が27年12月に完了しました。愛称も「さが西部クリーンセンター」に決まり、施設では1月4日よりごみの搬入を開始しており、1日当たり約119件、1月分の合計で2,968件の搬入が行われております。

搬入されたごみの処理にあたりましては、1号炉、2号炉がそれぞれ運転を開始しており、大雪を伴った寒波による断水の影響で運転を停止した日もありましたが、平均で1日当たり140トンのごみを処理しています。

平成28年度一般会計予算は、総額を歳入歳出それぞれ11億4,486万円とし、前年度に対し66億4,749万4千円の減となっております。

構成市町負担金 合計 1,133,301(千円)

伊万里市	275,224
武雄市	229,678
鹿島市	147,772
嬉野市	128,745
有田町	108,694
大町町	34,506
江北町	50,722
白石町	99,387
太良町	39,073

長期債元利償還金交付税措置額負担金(伊万里市)19,500

佐賀県西部広域環境組合議会議員 福井 正  
光 武 学

## 【杵藤地区広域市町村圏組合議会 2月定例会報告】

杵藤地区広域市町村圏組合の平成28年度一般会計予算、特別会計予算(介護保険、ふるさと市町村圏)等14議案を審議し可決しました。

平成28年度の当初予算は一般会計、特別会計の合計で199億7,334万2千円、前年度比2.2%(4億5,347万6千円)の減となっております。減の主な要因はごみ処理業務が平成28年1月より佐賀西部クリーンセンター(伊万里市)へ移管になったためです。

市町の負担金は総額で50億7,615万3千円、そのうち鹿島市の負担額は8億6,152万7千円です。

また、消防本部・武雄消防署統合庁舎が、平成28年より3ヶ年で建設されることにより実施設計業務委託料や建設工事費などが予算に計上されています。

杵藤地区広域市町村圏組合議会議員 松尾 勝利  
徳村 博紀

# 議会あれこれ

(平成28年1月～3月)

## 1月

- 5日 議会だより編集委員会
- 12日 議会報告会プロジェクト会議
- 13日 全員協議会  
議会だより編集委員会
- 19日 佐賀県市議会議長会  
議会だより編集委員会
- 21日 市民会館建設検討委員会とまちづくり推進構想  
対策特別委員会との意見交換会
- 27日 議会運営委員会行政視察 (～29日)

## 2月

- 2日 全員協議会
- 3日 全国広域連携市議会協議会総会
- 8日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会議案勉強会
- 10日 議会報告会
- 12日 議会運営委員会  
杵藤地区広域市町村圏組合議会2月定例会議案勉強会  
国道498号整備促進期成会 県への提案活動
- 15日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会
- 16日 杵藤地区広域市町村圏組合議会定例会
- 17日 全国市議会議長会地方行政委員会
- 18日 全員協議会  
総務建設環境委員協議会  
文教厚生産業委員協議会
- 23日 佐賀県西部広域環境組合議会定例会
- 24日 議会運営委員会
- 25日 鹿島・藤津地区衛生施設組合議会定例会
- 26日 平成28年3月定例会 開会 (～3月24日)

## 3月

- 2日 3月定例会 議案審議・討論・採決 (～3日)
- 7日 文教厚生産業委員会
- 8日 新年度予算審査特別委員会 (～15日)
- 15日 文教厚生産業委員会
- 17日 3月定例会 一般質問 (～22日)  
議会運営委員会
- 18日 議会運営委員会
- 24日 3月定例会 委員長報告・議案審議・討論・採決・閉会  
全員協議会
- 28日 杵藤地区広域市町村圏組合議会定例会  
議会だより編集委員会

## 行政視察受入状況(平成28年1月～3月)

1月21日	三重県名張市議会	7名
1月22日	高知県土佐市議会	7名
1月27日	福島県田村市議会	3名
1月28日	宮崎県日南市議会	4名
2月 4日	京都府京田辺市議会	4名
2月17日	兵庫県姫路市議会	5名

## 議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	1月		2月		3月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰	0	0	0	0	0	0	0	0
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	0	0	0	0	0	0	0	0
会費	4	14,000	1	3,000	2	11,000	7	28,000
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	14,000	1	3,000	2	11,000	7	28,000

## 編集後記

昨年の改選から早いものであつという間に1年が経ちました。2月には、市民と議会がともに歩む「議会報告会」を開催し、多くの市民の皆さんに参加して頂きました。

又、議会だよりでは、少しでも議会を身近に感じてもらえるようにと、分かりやすく、読みやすい紙面づくりに努めてきました。今回をもって編集委員を交替いたします。一年間ありがとうございました。

次回号より新メンバーになりますので、よろしくお願い致します。

### 【編集委員】

委員長 角田 一美  
副委員長 松田 義太  
委員 福井 正  
委員 杉原 元博  
顧問 光武 学

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。



海の森植樹祭